

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和 2 年 2 月 17 日

氏 名: 長田 優輝

留学時所属 & 学年: 国際地域学部 3 年

留学先大学	ハンブルク大学
留学先国	ドイツ
留学期間	2 学期間
留学開始 - 終了日	2019 年 4 月 1 日 - 2020 年 2 月 29 日

報告書上での氏名公開について (どちらかに○をつけてください。)

帰国報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

高校生の時に 2 週間ニュージーランドへ短期留学した際により長い期間の留学をしたいと思ったため。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

一番初めは留学したいと思ってすぐ貯金を始めた
しっかり留学に向けて準備したのは留学に行けるだけの TOEFL の点を取ってから、渡航可能な大学を調べることから始めた。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

行ったことのない地域で自分の興味のあるところ。インターネットや旅行本などで軽くあさり、疑問点は経験者に質問をした。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

特にこれといった対策はしてない、真面目に授業を受けていたら点は上がった。留学に必要な TOEFL を 5 回ほど受けただけで、ほかに試験などは受けていない。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

留学先の大学への学籍登録の際に国際課のスタッフさんが手伝ってくれたのが非常に助かった。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

春学期に関して、渡航日の関係で英語のレベルチェック試験が受けられず、英語の授業が取れなかったが、後に聞けば交渉次第で受講できたみたいだった。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

課外活動に力を入れていたためほとんど大学に行っていないので、校風はよく分からない。
雰囲気は街の中にしれっと大学があり、大学っぽくはない。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

上と同じ理由でよくわかっていないが、ネットは快適だが、手続きがやや難解で私は現地学生に手伝ってもらった。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

参加していない

B. 授業や勉学

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Disktieren und präsentieren(Prof. Sei Miwa)●時間数/週(単位数): 1/週(2単位)●クラスの学生数: 約 10名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 毎回授業でディスカッションを行い、復習としてレポートにまとめる
---	---

2	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名):Deutsch als Fremdsprache(Prof. Anne Zerfass) ●時間数/週(単位数):1/週 ●クラスの学生数: 約 30名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): ドイツ語によるドイツ語の授業。リスニング、ライティング、リーディング、スピーキングすべてを行う。教科書の指定されたページをやってくるのとライティングが課題
---	--

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

特にない

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

ドイツ語で授業をされるのでよくわからなかった。先生に言っても英語で説明してくれるわけではないので、周りの学生と積極的に交流し聞くなどした。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

基本は学生も主体的に話していくような形だった。日本と違い寝ている人はまずいないが、みんなが集中しているとは言えない。基礎となる知識が入っていないと会話についていけないためしっかりした知識が要求されると感じた。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

特にない

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(1)人部屋
寮・アパート名	Berliner Tor
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他(暖房器具)

共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 洗濯室、風呂トイレ
------	---------------------------------------

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。
(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

寮も大学も駅が近く交通アクセスはよい。
寮の近くに銀行やスーパーがある。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

家賃や保険料(ドイツは現地保険に加入必須)などの支払いは現地銀行からのみの引き落としなので作った方が支払いが楽。現地学生が手伝ってくれれば開設は簡単。
現金は現地通貨で引き落とし可能なカードを日本で用意した。支払いはだいたいクレジットカード。特に外国に旅行に行った際はいちいち両替や引き落としが面倒なため基本カード。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

日本の風邪薬は便利だった。ドイツで売っているものは刺激が強いらしい

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝ユーロ)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	170,000 円	食費	2500 ユーロ
保険代	290,000 円+1200 ユーロ	家賃	4100 ユーロ
予防接種・ビザ代	失念	教科書代	10 ユーロ
交際費(外食等)	150 ユーロ	その他	1000 ユーロ

合計: 460,000 円 + 8960 ユーロ

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

挙手の際日本のように手を挙げない(ナチスを彷彿とさせるため)
レストランで大きな声で店員を呼ばない(失礼にあたる)

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

特に知らない

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

していない

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

常用の目薬

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

語学留学やワーキングホリデーと違い交換留学は単に大学を交換するだけでそこに明確な目標がないため、目標設定が個人にゆだねられる。個人の目標設定次第でその留学の意味も出来も大きく変わってくるということが留学を通して分かった。私の場合は大学に通い何かを勉強するよりも自分の興味のある分野において活動がしたかったため、大学の外で活動することが多かった。そのためには自分で積極的に動いて機会を得ていく必要があり、目標に関して何をすべきか、どこならば可能なのか、自分で試行錯誤をしながら積極的に外の社会と関わっていくという作業を常にしていた。そのため積極性や自主性は身に付いたように感じる。そその社会での作業がほとんどで当然身の回りも学生たちよりも仕事をしている大人の方々が多く、大人の視点からのアドバイスや、サポートを頂けたうえ、授業などとは違った実際の仕事を通して責任感を持って作業をするという実践経験を得た。

英語圏ではない国のため英語が通じないことも多く、苦労が多かったが、その分英語圏ではない日本で外国人の方々がどのような不安を感じるのか、どういったところでサポートが欲しいのかなどが自分で経験してみても分かるようになってきた。

自分が思っていたヨーロッパのイメージと実際のヨーロッパのイメージが大きく違っただけで、旅行と実際にその国に住むということの違いも非常に大きいことを悟った。日本にいたときに日本はこうで、ほかの国はこう、など思っていたが根本的に異なっていたし、日本にしてもドイツに初めて見えてくる日本に対する考えもいくつもあった。

それらを踏まえても自分がいかに自分や自分の国に対して無知であるかを悟った。外に外にばかり目を向けて手を伸ばしていないで、しっかりと内側に目を向けるべきだと思った。

留学中自分で決めた目標に対してぶれずに努力を積み重ねられた点は非常に良かったと思う。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

語学力の向上

ほかにやりたい目標があったため時間がなかった。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

進路はいまだ定まっていない

もっと日本国内のことについて知識をためていきたい

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

先ほども述べたように交換留学の肝となる部分は個人の目標設定だと個人的には思っています。私の場合は留学後途中で一度目標を変更しました。その後は新しい目標に向かって全力で留学を駆け抜けられたので良かったと思いますが、留学先によってはその目標を達成する上で必要な環境がそろっていないという可能性も十分にあります。もちろん実際に現地に行った後で考えが変わる可能性も大いにありますが、やはり留学前になぜ自分が留学したいのか、自分は何に興味を持っているのかを考え直し、留学先を吟味すべきだと思います。留学というと多くの人が言語面のことを考えると思いますが、言語面以外をメインで活動している人も当然いますし、自分のやりたいことを胸張ってやるのが一番だと思います。